



ふだんは松原敏子さん（後列左）のお店、コットンアミーで手縫いを中心としたパッチワークや洋服作りを楽しんでいる皆さん。今回の講師の増田さんは松原さんの先生でもあります。

JUKI エクシードで 快適ソーイング

第3回 フェルト使いの バッグ

撮影/山本和正

JM工房

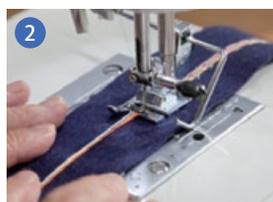


カラーリングに力を入れている増田さん。ミシンの講習の前に配色の授業をしました。



増田順子さん。「エクシードは私も持っています。押さえの種類が充実していて、多様な縫いができます。」

飾り縫い



手で押さえながら縫います。棒定規を付けると、まっすぐに縫うことができます。



押さえに3種の糸を通します。段染め糸を使うときれいです。



3本の糸が縫い付けられるひも付け押さえを使って、3本の糸を飾りステッチで押さえます。飾り模様は豊富な種類が内蔵されています。

フォーパッチ



带状にカットした同じ幅の布を2本縫い合わせてカット。



向きを変えて縫い合わせ、さらに正方形の一枚布とピースワーク。



三角ピースを合わせるときは、頂点の角を接ぎ目に合わせて縫います。



2種類の幅でカットし、周囲のピースを並べて確認してから縫います。



带状にカットした同じ幅の布を3本縫い合わせてカット。印は付けません。

パターンを縫う

ハート

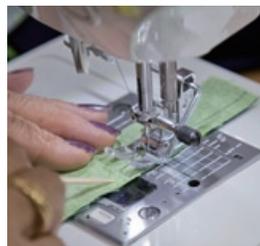


今回はキットでおそろいのバッグを作りました。皆さん、縫うところを確認しながら、着々と作業を進めていきます。

キルティング



上のパターンの接ぎ目を目安にキルティング。等間隔の直線のキルティングは、棒定規を付ければ、印を付けなくて大丈夫。パターンには落としキルティングを入れます。



ピースワークのとき、竹ぐしで布を送ると動きが滑らかに。



よく使う縫い模様はダイレクトボタンで簡単に選べます。直線（ピーシング）を選ぶと、押さえの右端から7mmの位置に針が落ちます。



標準装備の棒定規。一定間隔のステッチを縫うときのほか、まっすぐに縫いたいときにも使えます。

肩ひもを作る



3 Dかんを付ける側は布端を縫い残し、Dかんを通して押し込みます。



1 プリントの縫い代を折って、フェルトに仮留めのりではります。



4 ステッチで押さえます。Dかんにはカードホルダーなどを下げても。



2 落とし縫い押さえを使うと、きれいに端ミシンがかけられます。



本体がつながりました。中表に合わせて、脇、マチの順に縫います。

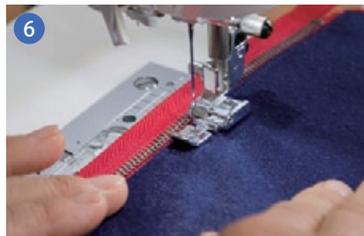
見返しを付けて肩ひもをはさんで本体と中袋を縫い合わせれば完成です。



7 同じように、ポケット布のもう一方の端も、ファスナーをはさんで表と縫い合わせます。



5 ポケット布を表に戻します。このとき、きせをかけないように気をつけます。



6 表からファスナーのきわをステッチで押さえます。



ファスナーポケット付きのショルダーバッグ。本体はフェルトです。近似色、補色といった相性のいい色が使われています。

ファスナーポケットを作る



3 ②の裏に、ポケット布裏を本体と中表に合わせて仮留めのりではります。



4 3枚を縫います。押さえをファスナー押さえに替えておくと、後の作業がスムーズに。



1 ファスナーを付けた表布のフェルトにポケット布を付けます。仮留めのりではりつけて縫うと、まち針で留めたりつけをかけたりの必要がありません。



2 本体とファスナーを中表に合わせて仮留めのりではります。

Exceed Quilt Special

HZL-F600JP
エクシード キルトスペシャル
オープン価格



エクシードは工業用ミシンの技術、機能を取り入れたコンピューターミシンのシリーズ。キルトスペシャルはキルトを美しく縫い上げる機能が充実しています。

★商品に関するお問い合わせはこちらへ。

JUKI 〒206-8551 東京都多摩市鶴牧2-11-1
お客様相談室 フリーダイヤル 0120-677-601
JUKI販売株式会社 http://www.juki.co.jp/household_ja/



明るめの色が多くそろっています。

**手創りハウス
コットンアミー**

〒259-1131
神奈川県伊勢原市伊勢原1-13-13
☎・FAX 0463 (94) 4500
10時～17時30分 日・月曜、祝日定休
小田急線伊勢原駅より徒歩2分



店内では、ほぼ毎日、教室が開かれています。